

1. 策定趣旨

- 国では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「地球温暖化対策計画」(2025年2月閣議決定)において、温室効果ガス排出量を2013年度比で、2030年度には46%削減、2035年度及び2040年度にはそれぞれ60%、73%削減する目標を定めている。
- 愛知県においても、「あいち地球温暖化防止戦略2030(改定版)」(2022年12月)を策定し、県内の温室効果ガス排出量を2013年度比で、2030年度に46%削減することを目指している。
- 国内のCO₂排出量の約18%(2023年度)を道路分野が占めており、道路分野における温室効果ガス排出量削減に向けた取組を着実に進めていく必要がある。
- こうしたなか、2025年4月の道路法改正により、道路管理者が協働して脱炭素化を推進するため、国の「道路脱炭素化基本方針」に基づき、各道路管理者が「道路脱炭素化推進計画」を策定する枠組みが導入された。
- 本県においても、道路の脱炭素化を計画的かつ着実に推進するための計画として「愛知県道路脱炭素化推進計画」を策定する(2026年3月30日策定)。

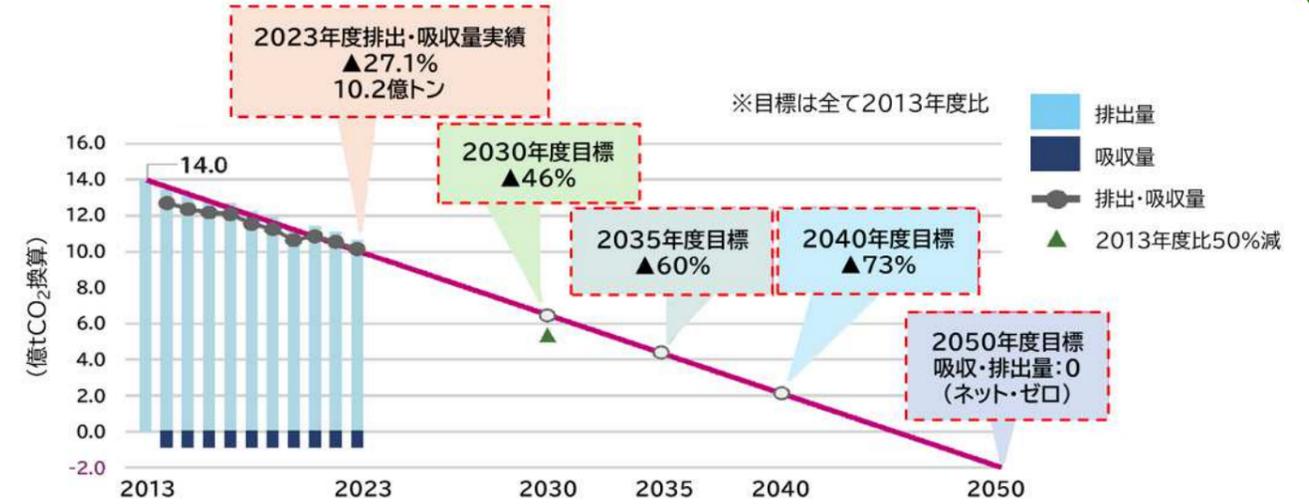


図 我が国の温室効果ガス排出量の推移と削減目標*

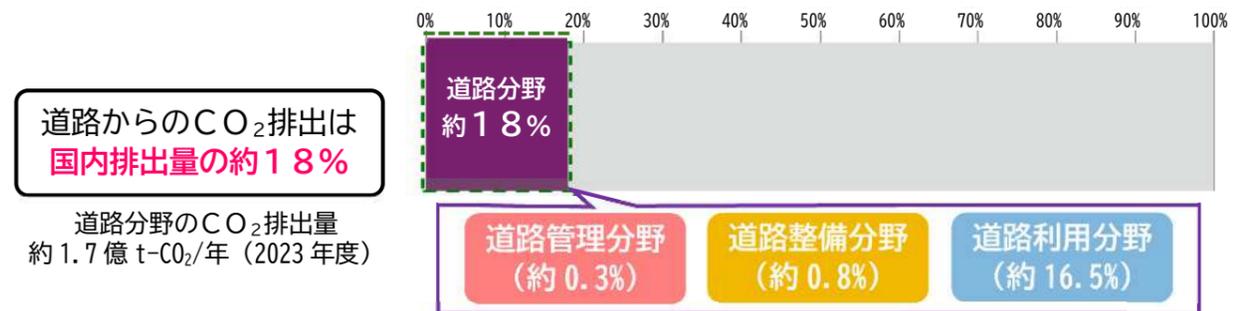


図 国内のCO₂排出量に占める道路の割合*

※出典：道路分野の脱炭素化政策集 Ver.2.0 (2025. 10) (国土交通省)

2. 計画概要

本計画は、道路管理分野、道路整備分野、道路利用分野の3つの分野ごとに、脱炭素化の目標、脱炭素化の推進を図るための施策などを定めたものである。

- ① 計画期間：2026年度から2040年度まで
(目標値を算定するための基準年度は2013年度)
- ② 対象路線：愛知県が管理する道路法上の道路
(愛知県道路公社、名古屋高速道路公社が管理する道路を除く)

表 各分野の範囲

道路管理分野	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 道路関係車両(パトロール車、公用車)の燃料・電気使用に伴う排出 ➢ 道路照明の電気使用に伴う排出 ➢ 道路設備・施設の電気使用に伴う排出
道路整備分野	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 道路の建設及び修繕工事に使用する建設材料の製造過程などにおける排出
道路利用分野	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 道路を走行する自動車の燃料・電気使用に伴う排出

3. 脱炭素化の目標、脱炭素化の推進を図るための施策

<道路管理分野>

■ 基準年度における CO₂ 排出量

	2013 年度
排出量	27.0 千 t/年

➔

■ CO₂ 削減目標(基準年度:2013 年度)

	2030 年度	2040 年度
削減量	19.6 千 t/年	25.7 千 t/年
削減率	72 %	95 %

■ 施策(取組内容)

- 道路関係車両の電動化

パトロールカー、公用車の電動化を推進



目標 道路関係車両の電動化率
[2030 年度 2040 年度]
48% / 91%
- 道路照明の LED 化

道路照明、トンネル照明などの LED 化を推進



目標 道路照明の LED 化率
[2030 年度 2040 年度]
92% / 94%
- 再生可能エネルギー活用

道路管理で使用する電力において、再生可能エネルギーの活用を推進

目標 調達電力の再生可能エネルギー比率
[2030 年度 2040 年度]
60% / 80%

<道路利用分野>

- 自転車の利用促進

自転車通行空間の整備により、自動車から自転車への転換を促す



主要地方道豊橋湖西線

目標 自転車通行区間の整備延長
[2030 年度:87km]
- 渋滞対策の推進

現道拡幅、バイパス整備などにより、主要渋滞箇所の解消に向けた取組を推進



主要地方道名古屋岡崎線(豊明刈谷工区)

目標 主要渋滞箇所の解消箇所数
[2030 年度:34 箇所]
- EV 急速充電器の設置促進

道の駅[※]における EV 急速充電器の設置により、EV 車の普及促進を図る



道の駅「あくりステーションなぐら」

目標 道の駅[※]EV 急速充電器設置駅数の割合
[2030 年度:100%]

※「地方一体型」の道の駅

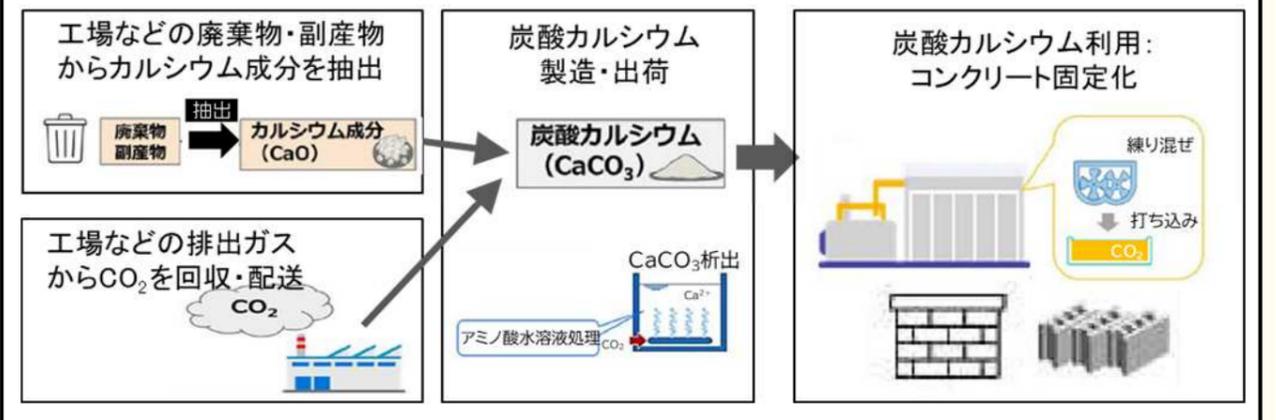
<道路整備分野>

- カーボンリサイクルコンクリートの導入 **【愛知県独自】**

CO₂ を固定化する技術を用いたコンクリートの導入を試行

目標 カーボンリサイクルコンクリートの使用 [2030 年度:試行導入1件以上]

カーボンリサイクルコンクリート製造の流れ



工場などの廃棄物・副産物からカルシウム成分を抽出
抽出 → カルシウム成分 (CaO)

工場などの排出ガスから CO₂ を回収・配送
CO₂

炭酸カルシウム製造・出荷
炭酸カルシウム (CaCO₃)

CaCO₃ 析出
アミノ酸水溶液処理 CO₂

炭酸カルシウム利用: コンクリート固定化
練り混ぜ → 打ち込み → CO₂
- 低炭素アスファルトの導入

通常より低温で製造する技術を用いた低炭素アスファルト合材の導入を試行

目標 低炭素アスファルトの合材出荷率 [2030 年度:6%]
- 低炭素コンクリート(代替材料)の利用促進

産業副産物(高炉スラグ等)を使用した低炭素コンクリートの利用を促進
- 予防保全による長寿命化の推進

大規模修繕から損傷が軽微な段階での修繕に転換し長寿命化を図る

4. その他計画の実施に関し必要な事項

○ 道路占用制度を活用した脱炭素化施設等[※]の設置促進



※脱炭素化施設等

- 1) 太陽光発電設備、風力発電設備
- 2) EV 充電機器、EV 充電施設
- 3) 水素供給施設
- 4) シェアサイクル器具、シェア電動モビリティ器具